



美鳩小図書館だより

2025年 11月 発行

中野区立美鳩小学校
学校長 矢島直子
学校図書館指導員
橋爪啓子 中本奈央子

皆さん、秋といえばどんな言葉を思い浮かべますか？「紅葉」「赤トンボ」「柿」「秋刀魚」「運動会」など…。これらはすべて秋の季語（俳句において特定の季節を表す言葉）です。詩や俳句・短歌に関する本を読んで、深まる秋を感じてみてはいかがでしょうか？
参考：『短歌・俳句（ポプラダイア情報館）』ポプラ社

お知らせ

★「どうぞのいす」ができました。置いてある本を借りたら、かわりに自分のおすすめの本を置いてください！

今月の特集

- ★詠んでみよう！俳句・短歌
- ★名前はなあに？
- ★なかかわりえこさんの本

北原白秋 生誕140周年記念

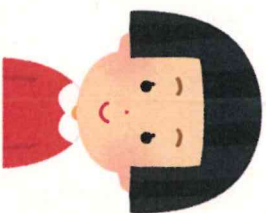
北原白秋（本名・隆吉）は、1885（明治18）年、福岡県の柳川で生まれました。中学時代から詩を書くことに熱中し、のちに詩だけでなく、短歌や童謡、校歌の作詞なども手がかけ、様々な分野でたくさん作品を残しました。「あめあめふれふれ かあさんがり」でおなじみの童謡「あめふり」など、今でも多くの人に愛され歌い継がれています。代表作のひとつ「からたちの花」は、おずかしい言葉を使わず、見たまま、感じたままの世界をやさしいリズムと言葉で表現しています。みなさんも、身近な出来事や風景を、詩や歌にしてみませんか？



名前はなあに？

読書週間中、自分の名前の1字から始まる本を探すイベントをします！

『わたし』（分類:36） 谷川俊太郎/ぶん 長新太/え 福音館書店/出版



「わたし」の名前は「みちこ」。でもお兄ちゃんからみたら「いもうと」で、夫からみたら「にんげん」です。では、宇宙人からみたら、アリからみたら、なんと呼ばれるでしょうか？相手との関係で呼び名が変わることが、楽しくわかる本です。

『くしゃみくしゃみ天のめぐみ』（分類:913）



福岡享子/作 寺島龍一/画 福音館書店/出版

屋根をふきとばすほどのくしゃみをする「くしゃみのおつかあ」と、その息子「はくしよん」のお話。その他にも「しゃっくり」「いびき」「おなら」「あくび」のつく4つのお話が入っています。どれも、くすつと笑えて、ハッピーエンドのお話です。



『ユウキ』（分類:913） 伊藤遊/作 上出俊也/画 福音館書店/出版

「おれ」が小学校に入学して仲良くなった友達は、3人とも転入生で名前は「ユウキ」。でもみんな転校していなくなりました。寂しい気持ちで迎えた6年生の始業式、クラスに転入生がやってきました。もしかして、と期待する「おれ」の前に現れたのは、女の子の「ユウキ」でした。

